

上海紧缺人才培训工程教学系列丛书

日语口译资格证书考试

口语教程



0.9



上海外语教育出版社

上海紧缺人才培训工程推荐教材

日语口译资格证书考试

口语教程



上海外语教育出版社

上海紧缺人才培训工程教学系列丛书

日语口译资格证书考试

口 语 教 程

陆国华 黄秋萍 编著

上海外语教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语口译资格证书考试:口语教程/陆国华,黄秋萍编著.

—上海:上海外语教育出版社,1999

(上海紧缺人才培训工程教育系列丛书)

ISBN 7-81046-690-9

I.日… II.①陆… ②黄… III.日语-口语-教材

IV.B369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 31864 号

“上海市日语口译资格证书考试”

专家组及教材编委会成员

主 编 张鸿成

编 委 陆静华 周道宏 陆国华

黄秋萍 钱力奋

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300(总机), 65422031(发行部)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 应 允

印 刷: 华东师范大学印刷厂

经 销: 新华书店上海发行所

开 本: 850×1168 1/32 印张 7.125 字数 183 千字

版 次: 2000 年 3 月第 1 版 2001 年 3 月第 2 次印刷

印 数: 5 000 册

书 号: ISBN 7-81046-690-9 / G · 840

定 价: 9.80 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

总 序

振兴上海,开发浦东,争取在下世纪初把上海建设成为国际经济、金融、贸易中心之一,成为长江流域经济发展的“龙头”,这是党中央和国务院交给全体上海人民的一项跨世纪历史任务。1994年11月7日,黄菊同志在上海市市长国际企业家咨询会议上强调指出:“上海跨世纪发展战略能否顺利实施和实现,从根本上说取决于能不能造就一大批面向新世纪的高层次人才”。

为了加速人才培养,早在1993年上海市教委、成教委、市委组织部、市人事局就共同发起和组织了“紧缺人才培养工程”,并组建了十大紧缺人才培训中心,遍布于各大行业,全面推进紧缺人才的培训工作。其中,上海市高校浦东继续教育中心(PCEC)就是十大紧缺人才培训机构之一,它是由上海市教育委员会、上海市人事局和浦东新区有关部门、以及十所高校共同组建的高层次继续教育专业机构。

随着上海改革开放的深化、产业结构的调整、第三产业的迅速崛起、外资和外商的大量涌入、涉外业务及外事活动急剧增加,高级口译人员迅速成为社会的紧缺人才。然而,正规院校的培养能力总是相对有限的,培养高级口译人才的最好渠道是通过继续教育。为此,“上海市紧缺人才培养工程联席会议办公室”专门委托上海市高校浦东继续教育中心(PCEC)设立“上海市外语高级口译岗位资格证书”项目,并开展相应的培训及证书考试工作,培养高级口译人才。教材建设是培训与考试的基本条件,PCEC发挥自身优势,组织了上海各高校的口译教学专家,群策群力、精心编写了具有较高水平的高

级口译培训系列教材。教材在内容上具有科学、实用、新颖等特色。坚持在兼顾“读、说、听、写”的基础上,突出培养高级口译能力。教材的出版具有以下几方面的意义:

- 1、为紧缺人才培养提供了保证;
- 2、填补了外语教学在这一领域的空白;
- 3、为外语教学改革提供了良好的借鉴;
- 4、为在全社会推动证书教育,转变“文凭本位”观念起了良好的作用。

语言是人际交往不可缺少的工具。展望 21 世纪,上海作为国际知名大都市,国际交往必将更趋频繁,对高级外语口译人才的需求仍将十分旺盛。因此,在下一世纪,“口译岗位资格证书”项目必将有更广阔的发展前途。“欲穷千里目,更上一层楼”,我希望 PCEC 和各位专家更加努力,通过实践,对教材的内容、形式不断进行更新、改进和提高,使整个培训项目及教材具有权威性。借此机会,我也希望有志翻译事业的莘莘学子都能通过“上海市外语高级口译岗位资格证书”的考核,为 21 世纪上海的腾飞作出应有的贡献。

上海市教育委员会副主任
上海市高校浦东继续教育中心董事长
薛喜民
1998 年 4 月

前 言

“上海市日语口译资格证书”的培训和考试是“上海紧缺人才培训工程”的项目之一,由上海市委组织部、市人事局、市教育委员会和市成人教育委员会联合主办。通过本项目市统考者,可获得这四个部门统一颁发的“上海市日语口译岗位资格证书”。该项目由上海市高校浦东继续教育中心承办。

为满足培训需要,该项目专家组成立了日语口译资格证书教材编写委员会,由张鸿成任主编,编委有陆静华、周道宏、黄秋萍、陆国华、钱力奋。六位编委分头执笔撰写了《翻译教程》、《听力教程》、《阅读教程》、《口语教程》和《口译教程》。可供各培训点教学使用。这五本配套教材是根据《上海市日语口译资格证书考试大纲》的要求及细则编写的,分别适用于笔译、听力、阅读、口语、口译五门课程的教学。学生经过培训之后,能适应本资格证书的考试。此外,本教程也可作为一种自学教材,供有一定日语基础的人员通过自学来参加本资格证书的考试。本套教材的适用对象为通过国际日语水平考试二级或相当于大学二年级水平者。

我们认为:要成为一名合格的口译工作者,必须在听、说、读、写、译这五个方面同时下功夫,齐头并进,缺一不可。据此,教材编写委员会确定了统一的编写原则、范围、要求。总体上安排学生在接受 240 学时(以每周 15 学时,共十六周计)的系统培训后,可达到相当于国际日语水平考试一级程度,具有担当一般性口译的能

力。具体地讲,通过市统一考试后,“日语口译资格证书”获得者应能胜任各类外贸商务谈判、生活翻译、陪同翻译等口译工作。

这套教材共有五本,是相辅相成的。即有统一要求,又有各自的重点。在教学进度上,各教程均规定每周完成一课内容,五项训练齐头并进。在具体教学中,我们认为:应以听、说领先,听、说和读、写、译并重。听、说训练宜采用情景教学法,尽可能让学生多开口讲、用耳听、动脑想。培养学生用外语来思维的能力。在译的方面,以信、达为主,也就是要求忠实于原意,明白、通顺。在教学中,也应尽可能让学生多译、多练。概括地讲,每本教程都强调实践为主,在教学中始终以操练为主,充分发挥学员的主观能动性,让学生在反复操练、实践的氛围中不断提高日语水平和各项技能。本套教材的《听力教程》还配有录音,以便学生复习使用。

本教材在编写过程中,自始至终得到陈德民先生的鼎力相助,在此表示谢意。

由于时间仓促,加之水平有限,书中难免有不足之处,真诚地希望各位批评指正。

主编 张鸿成
1998年5月

编者的话

《口语教程》是按《上海市日语口译岗位资格证书考试大纲》要求编写的,供具有一定日语基础,且有志于参加口译资格证书考试者使用。本教程以强化培训口头表达能力为宗旨,收集了日本社会、文化、自然、学校等交际中常用语汇。通过使用本教程对学员进行综合性训练,可提高学员的日语口头交际能力。

本教程由十六个相对独立的单元组成。每单元以培养学员在实际场景中日语口语交际能力为主要目标,并在此基础上进一步提高学员有条理地叙述、说明、描写的 ability。

每课内容安排:

- 一 短文:要求学员通过短文学习,对全文内容进行总体上的把握,并能不看教材对文章进行归纳、复述。
- 二 注释:详细解释该语言现象的应用场合,并辅以实例。
- 三 练习:着重练习句型及一些特定表达方式。学员通过反复操练,务求达到能脱口而出;同时能充分注意语音语调。

本教程 1~8 单元由陆国华编写,9~16 单元由黄秋萍编写。由于编者的水平、经验有限,书中难免有一些疏漏和缺陷,衷心希望有关专家及使用本教程的师生指正。

编者

1998 年 5 月

目 録

第一課

セクションA	訪問	1
セクションB	川と人間	5
セクションC	一方交通の文化	8

第二課

セクションA	現代の神々	13
セクションB	隣室の学生(正夫の日記から).....	19
セクションC	富士は生きている.....	23

第三課

セクションA	豊作貧乏	27
セクションB	盆と正月.....	30
セクションC	自然を守る.....	35

第四課

セクションA	緑と青の自然	39
セクションB	恩師.....	42
セクションC	梅雨と台風.....	47

第五課

セクションA	ふすまの部屋	50
--------	--------------	----

セクションB	日本文化の特色	53
セクションC	テレビの功罪	56

第六課

セクションA	喫茶店	62
セクションB	都市の巨大化とその問題	67
セクションC	日本にはなぜ木で造った家が多いか	69

第七課

セクションA	海外旅行について	73
セクションB	子供と受験	76
セクションC	山と女性	80

第八課

セクションA	沈黙の世界	86
セクションB	禅ブーム	89
セクションC	中村さん	94

第九課(スピーチに関すること)

セクションA	笑いや涙は伝染すること	98
セクションB	順序を組み立てること	103
セクションC	結びに余韻を残すこと	107

第十課

セクションA	買い物は家で	113
セクションB	訪問販売ブーム再上陸	117
セクションC	カラオケ	120

第十一課

セクションA	「うまい水」が飲みたい時代	125
セクションB	パン	130
セクションC	「暴暴茶」	134

第十二課

セクションA	日本人の健康法	140
セクションB	印鑑	144
セクションC	結婚式の贈答品もサマ変わり	148

第十三課

セクションA	東京タワー	153
セクションB	新幹線とローカル線	157
セクションC	ペットと日本人	161

第十四課

セクションA	勉強好きな日本人	166
セクションB	おお、しゃれ	170
セクションC	日本語の中の外来語——直接的な表現を避 けて	173

第十五課(現代用語ガイド)

セクションA	景気低迷と消費動向	178
セクションB	Uターン・準Uターン	182
セクションC	ホワイトカラー/ブルーカラー/グレーカラ ー	187

第十六課

セクションA	新運賃タクシー登場で	192
セクションB	「近未来」のコンビニ誕生	195
セクションC	過剰包装	199

参考答案	204
------------	-----

単語索引	210
------------	-----

第一課

A 訪問

日本に着いて一週間後、私は中村君の家を訪ねた。彼の家は私鉄の沿線で駅からあまり遠くない。閑静な住宅街にある。都心から約一時間かかった。

応接間に通され、中村君のお母さんに挨拶をしているところに、お父さんも出て来られた。お父さんは出版関係の仕事をなさっている。二年前にアメリカに来られたときに、山田先生の紹介でお逢いしているので、初対面ではない。

考えてみれば中村さん親子にはすっかりお世話になっている。お父さんには今度日本に来るにあたって保証人になっていただいたし、春男君には大学に案内してもらったり、アパートさがしを手伝ってもらったりした。

日本の家庭を初めて訪ねる私は畳の上にうまくすわれるだろうかなどと緊張していたのだが、通された部屋は日本間ではなく、小さいが、洋間で、まずはほっとした。しかし、一方ではちょっと期待を裏切られたような気もした。

単語

応接間/おうせつま/(名)会客室
初対面/しょたいめん/(名)初次见面
洋間/ようま/(名)西式房间
ほっと/(副)放心貌, 叹气貌

参考例文

一. 通す

応接間に**通され**、中村君のお母さんに挨拶をしているところに～

注: 部屋を案内する。

1. お客を店へ通しました。
2. 客間へ通してください。
3. お客を二階へ通しました。

二. ～ているところ(に)

中村君のお母さんに挨拶をしているところに、お父さんも出て来られた。

注: 「場合、ちょうどその時」という意味。

1. 噂をしているところに彼が現れた。
2. 買い物に出掛けようとしているところに友達が来たので、一緒に行くことにした。
3. いいところに来たね。一緒にお茶を飲まない。

三. ～にあたって

お父さんには今度日本に来る**にあたって**保証人になっていただいたし～

注:「～のときに」という意味。

1. この実験をするにあたって、いくつか注意しなければならないことがある。
2. 大学を卒業するにあたって、お世話になった先生方に記念品を送ることにした。
3. 今度の事業を成功させるにあたっては多くの人々の協力が必要である。

四. 気がする

一方ではちょっと期待を裏切られたような**気**もした。

注:「～のように思われる」という意味。

1. A 前にどこかでお目にかかったような気がしますが
.....
B 実は私もさっきからそう思っていました。
2. 彼の今の健康状態では海外出張はちょっと無理なような気がする。
3. ホンコンは地図で見ると日本に近いような気がしたが、実際にしてみると案外遠い。

練習問題

一. ()に適当なものを入れなさい。

1. 山田さんの家()訪ねる。
2. 中村さん()()すっかりお世話になっている。

3. 月日() 経つのが早い。

4. 期待() 裏切られた。

5. アパート() 探す。

6. 父はいま先生() している。

7. 畳の上() 座る。

8. 日本語が上手だから買物()() 不自由しません。

二. () の中のことばを選んで下線部に書きなさい。同じことばを二度使ってはいけません。

(いっこうに、かえって、わけ、さえ、しかし、ぜんぜん、まだまだ、もちろん、せい、そのうえ)

1. 日本人の名字の中には外国人には _____ 日本人にとっても難しいものがあります。

2. A 医者に注意されたので、お酒もタバコも _____ 飲まいことにしています。

B そうですか、で、その後いかがですか。

A もうやめてから3ヶ月になるんです。 _____ 胃のほうは _____ よくならないんです。

B それはいけませんね。きっと働きすぎの _____ でしょう。

3. A 忙しいかい。

B うん、新聞を読むひま _____ ないよ。

4. 私の運転は _____ 下手です。

三. 質問

1. 中村君の家はどこにありますか。

2. 筆者は中村君のお父さんと今度は初対面ですか。

3. 初めて日本の家庭を訪ねる筆者はどうして緊張していたのですか。

B 川と人間

人間は昔から、さまざまな方法で、川を利用して、川に頼って生き続けてきた。古代文明の発祥地も黄河や、ナイル川のような大河の流域である。人間にとって川は飲み水を始め、生活に必要な水の供給源であったし、物資を運ぶための重要な交通路でもあった。又、雨季になれば、上流からよく肥えた土を運んできて、農業の発展を促すことになった。こうした川の恵みを存分に受けながら、人類は繁栄への道を歩み始めたのだといっている。

二千年も前から、水田を耕作していた日本では、人々は川から農業用水を取ることによって、水田を潤していた。又、飲み水としても、井戸を掘って、地下水を汲み上げるよりもずっと前から、川の水は利用されていた。やがて、大きな町に人口が集中するにつれ、水の需要も増し、川の水を取り入れるための大規模な上水道が造られ始めた。明治時代になると、流水の力で電気を起こす水力発電が行われるようになったし、工業の発達とともに川の水は工業用水としても、重要な役割を占めることになった。

単語

頼る/たよる/(自五)依靠, 依赖

肥える/こえる/(自一)肥, 胖; 肥沃

促す/うながす/(他五)促使, 催促